

♪「六ヶ所村ラブソディー」「ミツバチの羽音と地球の回転」の鎌仲ひとみ監督最新作!

小さき声のキャン

— 選択する人々

Little Voices from Fukushima directed by Hitomi Kamanaka

福島—チエルノブイリ

国境を越えて

「被ばく」から子どもを守る
母たちのドキュメンタリー

1986.3.26
Chernobyl

2011.3.11
Fukushima

希望は「ここ」にある

「保養」
がない?



監督 鎌仲ひとみ × 音楽 Shing02 × 製作 ぶんぶんフィルムズ

www.kamanaka.com/canon 2014年 カラー / デジタル / 119分 / 配給: ぶんぶんフィルムズ

子どもたちに **いま** 必要な「保養」とは？



国境を越えてつながっていく、「子どもたちを守りたい」という思い。

福島原発事故後、子どもを被ばくから守るため避難を選択する人もいれば、福島で暮らすと決めた人もいます。福島で暮らすと決めたお母さんたちは、泣いてばかりでは解決しないと、子どもを被ばくから守るため自ら新しい選択肢を作り出していこうと動きだす。

一方、チェルノブイリ原発事故後のベラルーシでは子どもたちの被ばくを軽減する「保養」という取り組みが29年経った今でも続けられている。その具体的な内容と驚くべき効果とは？

事故から4年、日本でも被ばくを軽減する新しいステージが始まった。放射能についての危機感がしだいに薄れ、事故の風化がささやかれる今だからこそ、誰もが観るべきドキュメンタリー。



同じように悩み、迷ってきた母親の一人です。現実には厳しいけれど、お母さんたちの連帯から生まれる希望が描かれていることに、励まされました。この映画を通して、さらなる連帯が広がることを願っています。

俵万智さん 声人



小さき声のカノン — 選択する人々

出演：福島県二本松市のお母さんたちほか
 監修：藤井ひとみ プロデューサー：小原雅吉 音楽：Shing02 撮影：若田まさこ 録音：河城志一 編集：青木亮 助監督：宮島利
 宣伝：藤谷有美 村井孝美 製作・配給：ふんふんフィルムズ 2014年 カラー デジタル/119分 © ふんふんフィルムズ

www.kamanaka.com/canon

お問い合わせ 「小さき声のカノン」プロジェクト TEL. 03-6379-3938 MAIL movie@kamanaka.com

「保養」とは…

子どもたちが健康を取り戻すための“合宿”のようなもの。1986年、チェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシでは、今年年間10万人の子どもたちが保養を受けている。日本でも市民グループが全国各地で保養を始めている。

☆上映後、鎌仲監督のトークあります。

日時：2015年 12月20日 (日) 開場：AM9:30 上映：AM10:00
 場所：厚木市文化会館 小ホール (厚木市恩名1-9-20 電話046-225-2588)

前売券：一般1000円 学生500円 当日券：一般1300円 学生700円
 主催：なくそう原発あつぎの会 協賛：あつぎ環境市民の会

問い合わせ：山本 (046-247-6632) eメール：atsuginonukes@excite.co.jp

- チケット取扱い
- 厚木市文化会館 (チケット予約センター 電話 046-224-9999)
 - 有隣堂厚木店 (厚木市中町2-6 電話 046-223-4111)
 - 購れ屋 (厚木市中町2-8-6-中町ビル2F 電話 046-295-1161)
 - せいきょうあつぎ診療所 (厚木市水引2-8-29 電話 046-297-3325)

